

『営農アンケート』集計結果の説明

～古川地区集計～

1

令和3年2月9日
香南市農林水産課

『営農アンケート』集計結果の説明目的

- 営農アンケートの結果を地区会合の参加者間で共有し、**地区での共通課題を参加者で確認**する。
 - 農地所有者や農業者の年齢構成を知り、後継者の有・無を含め、今後の地区の農業継続性の現状を理解する。
 - 農業者や農地所有者の農地の現状認識を確認する。
 - 持続可能な農業に向けての考え方の傾向を共有する。
- アンケートの内容をできるだけ可視化し、地区の会合で**活発な議論を呼ぶ材料**とする。
 - 自由記述意見をコメントとして記述し、できるだけ生の声を再現する。

注) 営農アンケートの利用について

- ① アンケートでご回答いただきました内容は、『人・農地プラン』事業関係の事項に利用させていただき、他の目的では使用しません。
- ② 地区の会合等でアンケートの集計結果のまとめを説明する際に、お名前などを含めてプライベートな事項は出ないように処理したうえで、コメントを利用させていただきます。

地区の皆さま、ご了承をお願いいたします。

『営農アンケート』の概要

- **目的**：人・農地プランの策定に向けて、農地所有者、後継者、耕作者の現状、今後の営農の意向を把握する。
- **対象**：香南市にある農地の所有者、後継者、耕作者
- **方法**：郵送でのアンケートへの回答、または農業委員・推進委員による戸別訪問での聞き取り
- **使用データ**：農家台帳（令和元年12月16日時点）
- **件数**：宛先不明等を除いた実質 5,864件 （総数 7,302件）
- **実施**：令和元年12月～令和2年7月
- **回収終了**：令和2年9月23日
- **回収件数**：3,330件 （56.8%）
- **面積**：1520ha （64.4%）

古川地区の営農アンケート回収状況

5

(注) 農業委員・農地利用最適化推進委員による個別訪問調査も含む

- 200通送付し返信数は130通であり、返信率65.0%となった。
- 返信者の農地所有面積集計では、地区全体の59.5%となった。

表1) 地区別返信率 (人数)

No.	地域	実質数	返信数	返信率
1	佐古	303	185	61.1%
2	西野・大谷・深淵	560	319	57.0%
3	下井・上岡	314	208	66.2%
4	東野	433	216	49.9%
5	富家	285	156	54.7%
6	香宗	235	143	60.9%
7	吉原	290	146	50.3%
8	古川	200	130	65.0%
9	赤岡	174	118	67.8%
10	徳王子・岸本	592	344	58.1%
11	山南	484	266	55.0%
12	山北	380	203	53.4%
13	西川	247	140	56.7%
14	東川	209	113	54.1%
15	舞川・撫川・奥西川	103	57	55.3%
16	西山・坪井	397	231	58.2%
17	十ノ木・上夜須	181	95	52.5%
18	夜須川・細川・国光	207	124	59.9%
19	羽尾	36	26	72.2%
20	手結山	234	110	47.0%
	合計	5,864	3,330	56.8%

表2) 地区別返信率 (面積)

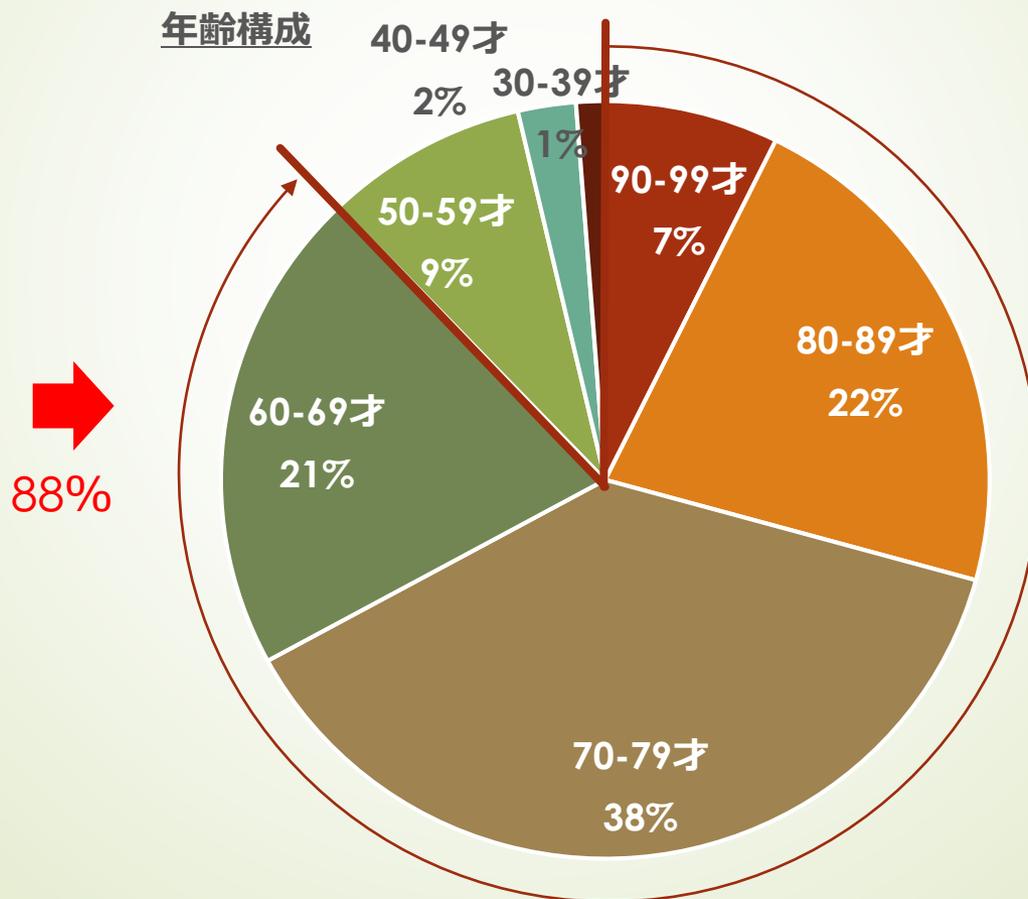
No.	地域	現況面積(m ²)	返信(m ²)	返信面積比率
1	佐古	1,297,261	744,122	57.4%
2	西野・大谷・深淵	2,360,164	1,572,798	66.6%
3	下井・上岡	1,314,818	908,980	69.1%
4	東野	1,825,753	1,048,214	57.4%
5	富家	925,220	618,222	66.8%
6	香宗	739,417	455,440	61.6%
7	吉原	809,809	424,597	52.4%
8	古川	437,288	260,175	59.5%
9	赤岡	580,401	450,114	77.6%
10	徳王子・岸本	3,020,829	2,228,900	73.8%
11	山南	2,365,532	1,459,258	61.7%
12	山北	1,749,997	1,196,689	68.4%
13	西川	1,107,364	738,328	66.7%
14	東川	777,707	485,386	62.4%
15	舞川・撫川・奥西川	277,516	143,200	51.6%
16	西山・坪井	1,600,275	1,044,408	65.3%
17	十ノ木・上夜須	801,984	453,988	56.6%
18	夜須川・細川・国光	695,643	402,999	57.9%
19	羽尾	134,915	73,671	54.6%
20	手結山	781,247	491,765	62.9%
	合計	23,603,141	15,201,256	64.4%

アンケート集計 (1)

6

アンケート回答者（農地所有者、農業者）の年齢構成

- 回答者（農地の所有者、農業者）の88%は60歳以上の状況である。



88%

設問への回答数 : 82

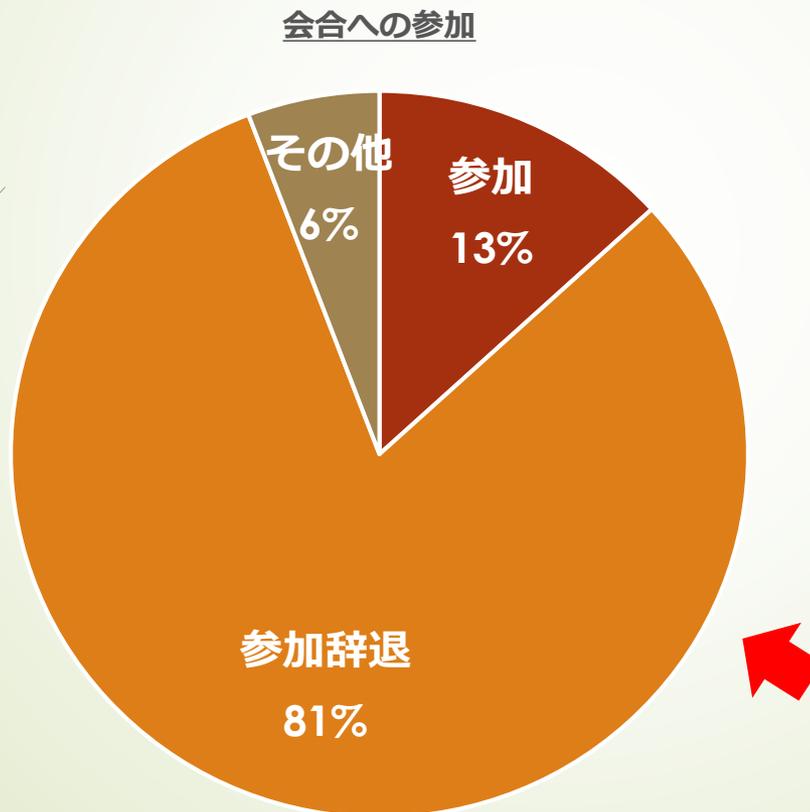
アンケート集計 (2)

地域会合への参画意向

7

話し合いへの参加希望 (取組に対する意見等)

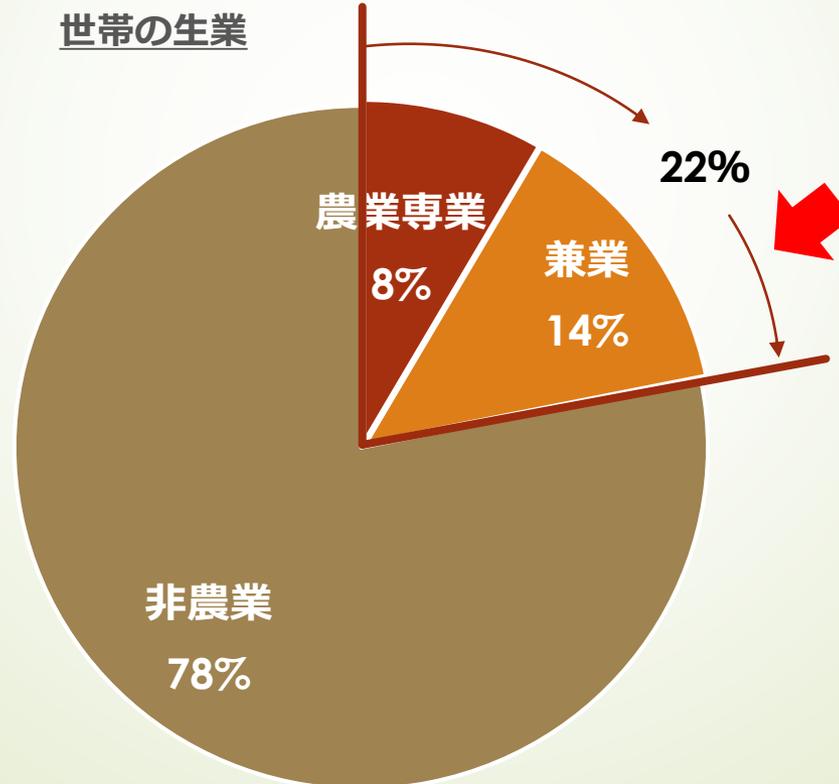
- 回答者の81%は地区会合への参加を辞退されている。
- 参加辞退者も、地区会合の内容は知りたいとの意向を持っている。



設問への回答者数 : 121

Q1. あなたの世帯は、どのような世帯ですか？

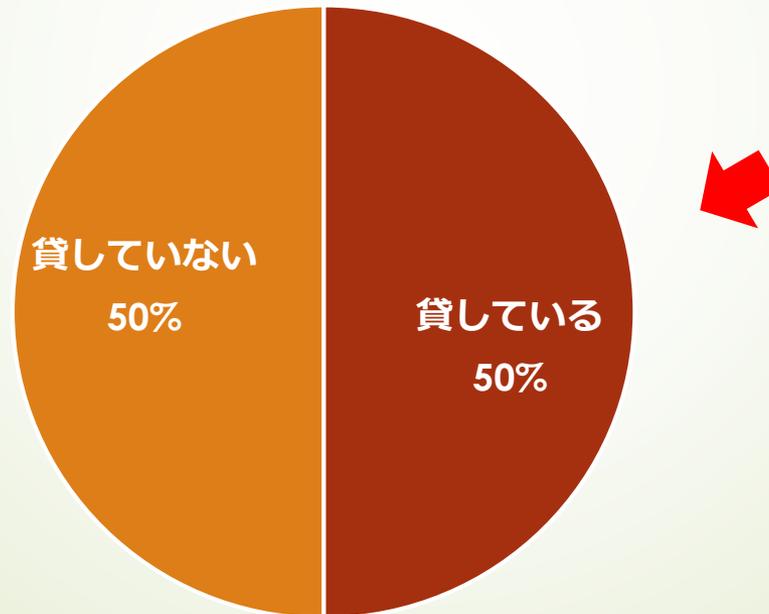
- 専業、兼業合わせても農業を営む割合は22%にとどまる。
- 農業を営んでいない人は78%であった。（離農し他の職業へ、相続、高齢、施設入所、県外など遠方に転出：土地持ち非農家）



Q2. 現在、人に農地を貸していますか？

- 現状で農地所有者の50%は農地を貸している。

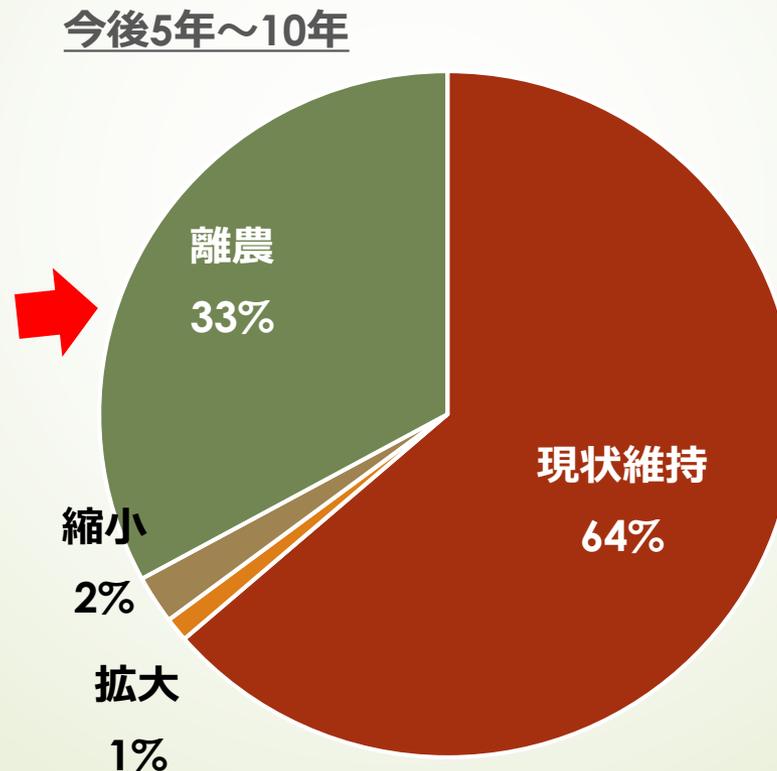
農地の現状



設問への回答者数 : 118

Q3. 5～10年後を考え、あなたはどのようにしていきたいですか？

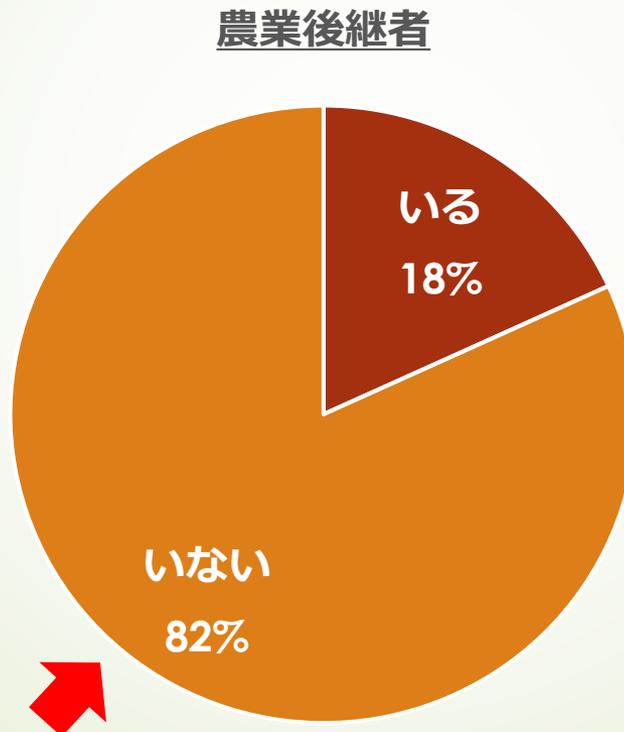
- 今後も現状維持するとの意向が64%である一方、農業を辞める、規模縮小する、との回答も併せて35%あった。



設問への回答数 : 88

Q4. 後継者（農業後継者）はいますか？

- 農業後継者のいない割合が82%あった。
- 跡継ぎは居ても農業を継がないあるいは継ぐかどうかは不明であるケースがある。



コメント：

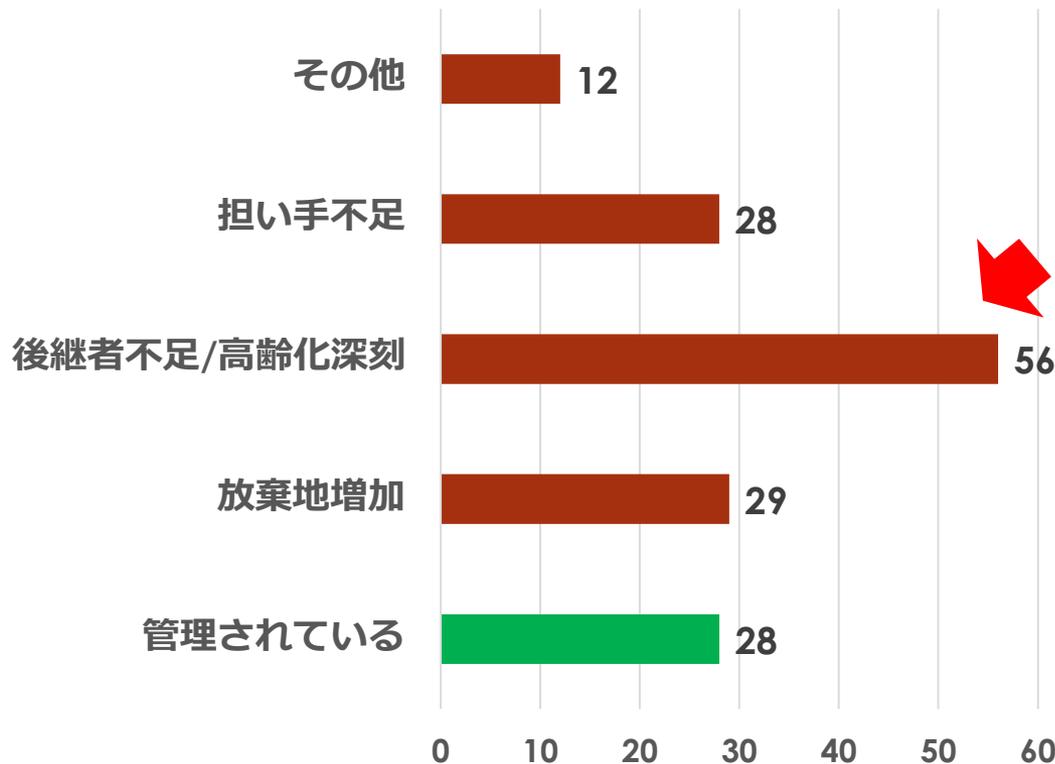
- ・ 娘二人とも県外で結婚後も家を見て仕事をしている。県内に帰ることはないと思う。

設問への回答者数：110

Q5. あなたの地域の農地や農業者の状況は、いまどのようになっていますか？

- 後継者不足や高齢化が深刻であるとの認識が多い。
- 市外/県外在住者による現状の認識度は低そうである。

地域の農業者/農地の状況



コメント：

- ・居住していないので実地のまま
- ・**県外**の為わからない（京都府在住）
- ・地域の状況は不明（高知市在住）
- ・**地域を訪ねたことが無い**のでわからない。（南国市在住）
- ・よくわからない/わからない

アンケート集計 (8)

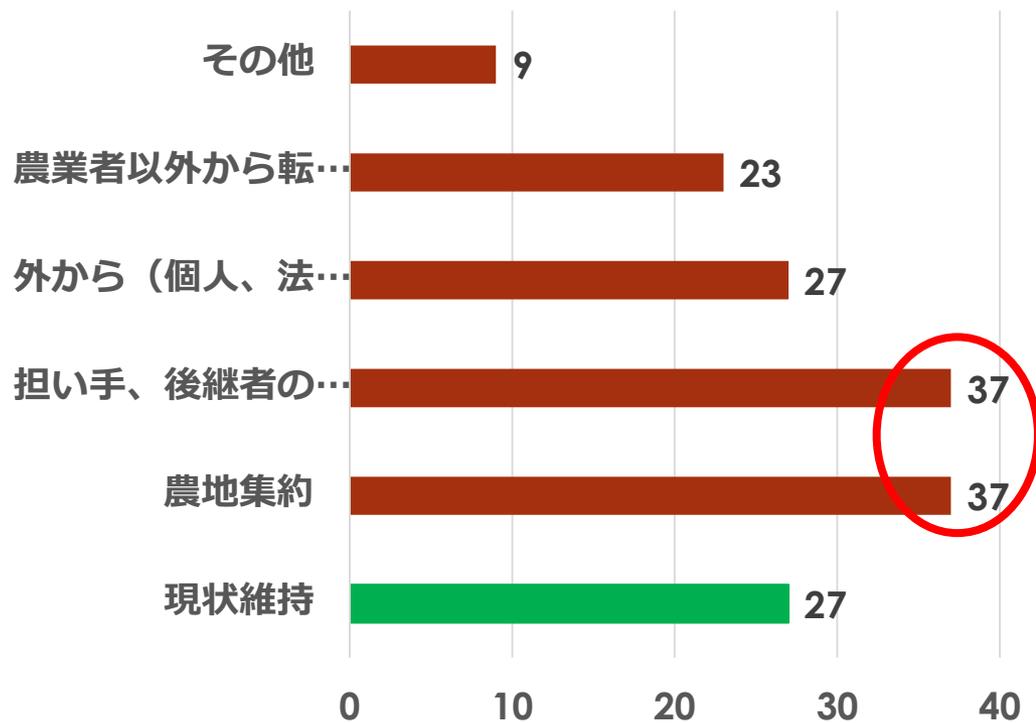
持続可能な農業のために

13

Q6. あなたの地域の農業が5~10年後も持続可能なものとするために、どうしたらよいと思いますか？

- 担い手や後継者の育成、農地の集約による効率農業が望まれている。

持続可能な農業



コメント：

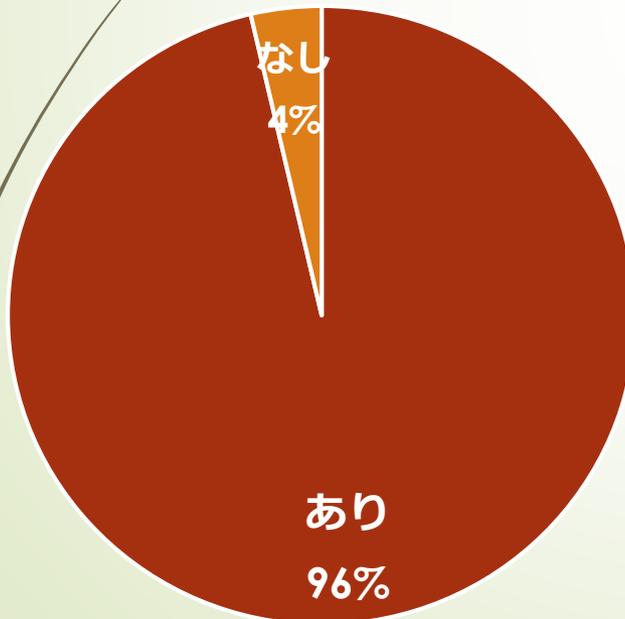
- 農業以外の地目に変更（開発を要す津波高台対策、工業団地等）
- 不明
- よくわからない/わからない
- **水路、農道の整備が必要**

設問への回答数：160

Q7. あなたの農地で、売ったり貸したりしてもよい農地やハウスがあれば教えてください。

- 貸し希望の背景は、農業者が体力的に続けられない状況、あるいは後継者不在、遠方に所在する等である。
- 売却希望の背景には、農業を辞めたり、農地として耕作条件が良くないことが背景となっているケースがある。また、借地者が高齢でその後継者がいないというケースもある。

売り貸し候補地



コメント

【貸したい】

- ・ 維持管理する者がいない/維持管理する者が居ない。

【売りたい貸したい】

- ・ 高齢等で維持管理する者が居ない。
- ・ 後継者が居ないため
- ・ 高齢者の為
- ・ 遠方の為耕作は不能。できれば売りたい。売れなければ管理してくれる方に貸したい。

【売りたい】

- **高齢で維持管理する者が居ない/維持管理する者が居ない/維持管理する者が居ない/維持する者が居ない/管理ができない（59 南国市在住）/管理ができない。**
- **高齢化/高齢化/年をとり作る気がしない。**
- **県外にいるため**
- **周囲が山林・竹林の為道路がなく不便（みかん山だった。）**
- **もともと農業経営をしていない**

(売却手続き中)

- **作業員を雇用し、雑草等を刈払いする計画を検討している。**
- **現在売りに出している。**
- **農地売却手続き中。**
- **安くて良い。**

■ アンケートからの農地の売却・賃貸希望の背景まとめ

16

農業者側の事情

- 高齢化、体力・気力低下
- 所有者/借地者の病気
- 遠方に在住
- 農機具を所有していない
- 他の仕事に専念
- 後継者不在/跡継ぎまで年数要
- 耕作者である借地人も高齢/後継者が居ない

農地を農地として管理できない。

耕作条件

- 小さい農地区画
- インフラ（農道/水路）不備
- 病害（生姜）/使用形態（養殖）

農地としての適性が低い。

稲作の採算

- 米づくりは赤字

農業（稲作）を続けられない。

資産活用

- 生活費の捻出
- 事業の資金の調達
- 貸地としても経費（公租公課、水利）要

農業以外で資金需要がある。

賃貸

売却